

分野	53	循環型社会
施策	531	低炭素社会への転換
5年後の目標	省エネルギー、再生可能エネルギーの普及など、低炭素社会への取り組みが進み、環境への負荷がさらに低減している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	省エネ・省CO ₂ 整備推進事業		会計	款	項	目	3,361,223	環境政策室
			一般	4	1	8		
事業の概要								
市域全体で地球温暖化問題に取り組むため、地球温暖化対策実行計画に基づく施策展開と進捗管理を進めます。市域の温室効果ガス排出量の削減のため、省エネルギー及び再生可能エネルギー設備の情報提供や設置助成を実施します。								

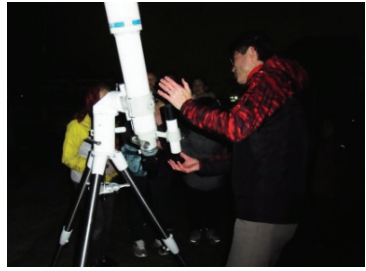
平成29年度の取組							
D (取組)	指標	再生可能エネルギーの世帯当たりの普及率 (※平成29年度からの目標指標)				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	3.40(平成27年度)	目標	4,325kWh/年 (1世帯あたりの平均 電気使用量)	3.63	3.90	4.18	4.45
		実績	—	3.61			
<ul style="list-style-type: none"> 第二期環境基本計画実施計画及び地球温暖化対策実行計画の進捗管理を実施しました。 地球温暖化防止に寄与する活動として薪ストーブ購入設置補助金、西山産薪補助金、住宅エコリフォーム補助金、住宅用自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金の補助制度を行いました。 環境講演会などのイベントで補助制度の周知を図りました。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁	
	評価指標	温室効果ガス排出量	温室効果ガスの排出量は経済活動の影響を受けるものの、平成21年度までは、減少してきましたが、平成23年に起きた東日本大震災の影響により、火力発電の増加によって化石燃料消費量が増えたことにより、電気の排出係数が上昇しています。その結果、温室効果ガスの排出量は増加傾向に転じています。		213
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度の周知が図られたことにより補助制度の活用が増えています。 補助実績は薪ストーブ購入設置補助金が3件(300,000円)、西山産薪補助金が864束(172,800円)、住宅エコリフォーム補助金が3件(159,000円)、住宅用自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金が8件(2,354,000円)となりました。 データ提供事業所による余剰電力購入実績件数は、100世帯未満の世帯数が四捨五入となっており正確な世帯数を把握することができませんが、受給電力量は前年度より増えており、市域における電力自給率は向上しています。 	
課題等	再生可能エネルギーの導入は設置費用(太陽光と蓄電池)がかかるため、今後も補助制度を継続する必要があります。				

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの補助制度を引き続き行うとともに、制度の周知を行います。 再生可能エネルギーと併せて省エネ行動の推進を行うことで電力消費抑制と受給電力量増による電力自給率向上に向けた啓発を行っていきます。

分野	53	循環型社会
施策	531	低炭素社会への転換
5年後の目標	省エネルギー、再生可能エネルギーの普及など、低炭素社会への取り組みが進み、環境への負荷がさらに低減している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	環境への意識向上推進事業		会計	款	項	目	57,532	環境政策室
			一般	4	1	8		
事業の概要								
低炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルをあらゆる世代の人に浸透させるため、市民、事業者、学校等と連携しながら環境に関する様々な広報、イベント・学習会の開催などに取り組みます。また、公共交通機関の利用などエコライフの啓発にも取り組むとともに、環境問題に取り組む団体や事業者に対しても活動を支援します。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	環境学習会等の開催回数・参加者数				単位	回・人
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	9回 276人 (平成26年度)	目標	9	9	9	10	10
		実績	8	8			
			289	229			
<ul style="list-style-type: none"> ・エスリード自治会への出前講座では「ホテルについて知ろう」をテーマに実施し、小学生の親子連れから高齢の方まで幅広い参加がありました。講義に加えて小泉川まで赴き、実際にホテルを觀賞してもらいました。 ・老人会への出前講座では、「環境の都をめざして」をテーマに実施しました。 ・親子で参加できるものとしてスターウォッチングやバードウォッチングを開催し、普段何気なく見ている空や木々に目を向け、自然について知ってもらい、楽しく環境について考えるきっかけづくりの場となりました。 ・交通政策課の交通安全啓発とともにエコドライブの啓発を実施しました。 					スターウォッチング 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報やイベント、学習会の開催により、幅広い年代に環境について考えてもらうことができました。特に60代以上の活動への参画が多くなっています。 ・ 環境学習会では3月に1回実施することで日程調整をしていましたが、翌年7月に開催することになったため、8回の開催になりました。 ・ 交通政策課の交通安全啓発と一緒にエコドライブの啓発を行うことで、環境への意識を持ってもらうことができ、人にも環境にも優しい運転の周知が図れました。 	—
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動への参画が少ない世代、特に現役世代をどのように巻き込んでいくかが課題です。 ・ イベントなどがマンネリ化しないよう、工夫をしていく必要があります。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き幅広い年代に向けてイベント等を開催します。 ・ ワークショップなど参加型の学習会を開催します。 ・ 環境の幅は広いいため、関係部署と連携しながらイベントや啓発などを行うことで環境について知ってもらう機会を増やしていきます。